



あそびの中で育つ力

雨が降ると園庭で遊べない・・・と残念に思う気持ちもありますが、雨が降った後の野菜の様子を見ると、葉っぱの色は濃く、茎もどっしりと土の中に根付き、生長しているのがわかります。年長児は、水やりをしながら野菜の生長の変化に気づき、収穫を見通し楽しみにしています。

新年度が始まって2カ月が過ぎ、「今日は、どんなことして遊ぼうかな」と、わくわくしながら登園してくる子どもたちが増えてきました。園内や園庭、どこでもやってみたくなる、心をくすぐられるものがあり、環境が整えてあることで、子どもたちは自分からモノや人に関わっていき、心と身体を動かし、頭を働かせながら夢中で遊ぶのです。2階のエントランスでは、大型段ボールで作った部屋が存在感たっぷりに置いてあります。子どもたちは、薄暗い空間の中で、暗い、明るい、光を当てると、こんな風に影ができる、色が変わるなど、いろいろと試しながら変化していく様子を楽しんでいます。

また、2歳児クラスでは「お医者さんごっこ」が始まっていて、最初は子どもたちが、ままと用の玩具を手に持ち、聴診器や注射に見立てて遊んでいました。その様子を見た保育者が聴診器や注射、お薬などを準備すると、子どもたちのイメージが広がり、「痛いですか？注射しますね」など子ども同士の会話のやり取りも聞こえてくるようになりました。

子どもたちは、「たのしい」あそびを発見し、何度も繰り返し試しながら、あそびが広がり、変化していくことに、おもしろさを感じています。あそびを通して、じっくり取り組む力や考える力、人と関わる力が身についていきます。もっとやりたい、試してみたいなど、夢中になって遊んでいるときは、大人の都合で片づけを告げず、「何をおもしろがっているのかな」と、お子さんと同じ目線で見てみると、今まで気づかなかったお子さんの素敵なおところや成長が見えてくると思います。

さらに、子どもたちが自分のことを自分で決められる主体性は、あそびの中で身につけていきます。大人は子どもが自分の思いや意図とは違う方向に向かっていくと、つい、失敗しないようにと口出しをすることがあるかと思われそうですが、子どもたちが自ら考えようとする主体性を伸ばしていくには、失敗した時になぜ失敗したかを一緒に考え、「次はこうの方がいいね」を子ども自身に考えさせた方がより主体性が身についていくと思います。

これから、梅雨期に入ると、雨の降る日が多くなってきます。裏の畑や園庭のプランターに植えた野菜の苗は雨の力をもらって、ぐんぐん生長していきます。その姿を通して雨の役割を考えたり、雨の日の特別な過ごし方を発見しながら、子どもたちと一緒にあそびが広がったり、つながったりすることを楽しんでいきたいと思っています。「今日もたのしかったね」「明日もこれやりたいね」というつぶやきをたくさん聞きたいと思っています。

園長

歯を大切にしよう！

『6月4日～10日は歯の衛生週間』です。子どもたちの歯を虫歯から守りましょう！

- * 丈夫な歯で、よくかんで食べることは、健康なからだをつくる上でとても大切なことです。虫歯にならないように歯磨きをしましょう！それでも虫歯になったら早めの治療をしてあげてください。
- * 歯のはたらき
 - ・食べ物を噛み消化を助ける
 - ・ことばが正しく発音できるよう助ける
 - ・顔の形を整え、あごの発達を助け、かむことで脳の発達を促す
 - ・永久歯が正しく生えかわるときの場所のガイドになる

ふれあい運動会

笑顔いっぱい楽しめました
応援ありがとうございました

お兄ちゃん、お姉ちゃんが走ってるのを見て
もも組さんも走ってみたいくなっちゃった



裏の畑では・・・

玉ねぎと せいくらべ
どっちが大きい？



玉ねぎと ひっぱりっこ
負けるな がんばれ



畑のお世話をしてくださ
る方と一緒に野菜の苗を
そぉ～っと植えます



園庭で遊んだり先生と一緒に野菜の
土づくりをしながらいろいろな虫と
出会ったよ 虫にへ～んしん！



風を切って巣に帰ってくる親つばめと、口を開けるヒナの様子を見ながら親子の時間がゆっくり流れる場面にはっこり



〇〇〇の木
花が咲いたよ
なんの実が
なるかな



風の不思議を探求！
いろいろな素材と風で
遊んだね

